

(9)

(月ぎめ購読料1,800円うち消費税133円)・一部売り(税込み)80円

<第3種郵便物認可>



カヌースプリントの海外派遣選手選考会で好成績を収め、日本代表に選ばれた。10、12日にニュージーランドのカラピロ湖である「アジアパシフィックスプリントカップ」に出場。初の国際大会に「いい経験をして今後につなげたい」と意気込む。

U18(18歳以下)のカヤック1人乗り(K1)や2人乗り、4人乗りなど6種目に出場する予定。K1以外は他の高校生らと艇に乗る。

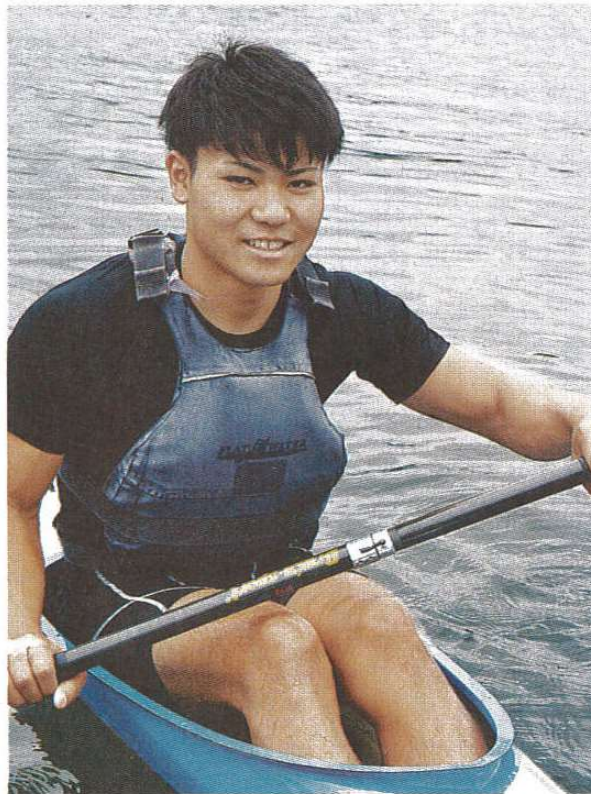
カヌーを始めたのは高校に入ってから。「最初は転

# 富塚 晴之君(17)

## 田辺工業高校 カヌー一部3年

# 競技3年目で日本代表

覆してばかりだった」とい。前年の夏以降。昨年の県総体を始めたのは遅いが、持ち年。頭角を現したのは高校2年。K1で優勝し、全国総体に出場したが入賞できなかった。その後、トレーニングで必要な部分を強化し、



とみつか・はるゆき 3月に香川県坂出市であったジュニア海外派遣選手選考会のジュニア男子K1の2000mで優勝、5000mで準優勝し、日本代表に選出。田辺市新庄中学校では野球部だった

10月の福井国体では少年男子K1の5000mコースで準優勝、2000mで6位入賞と躍進した。

日本代表チームに指導者として同行する田辺工業高校カヌー部顧問の谷地利和教諭(47)は「体格や体力が突出した選手ではないが、パドルさばきや水のつかみが卓越してうまく、勝負強い。コースの距離に関係なく結果を出せる」と評価する。田辺工業カヌー部から日本代表に選ばれるのは4人目という。

小学校と中学校では野球に打ち込んだ。「小さい頃からカヌーをしている選手に勝つのが楽しい」と不敵に笑う。一方で、大会の前に「まだまだ自分は世界に通用しないと謙虚に分析。『速い選手を見て学び、いずれは世界選手権に出てみたい』と夢を語る。

(保富一成)